



glu リリースノート

IMC 3.6.0

IMC の最新バージョンとして、3.6.0 を提供いたします。リリース日：2024 年 2 月 28 日

詳細な設定・ご利用方法については、アタラ サポートチームへお問い合わせください。

API 更新

以下のバージョンに対応しました。

名称	バージョン
AD EBiS	REST API v1
Facebook広告	v18.0

機能追加・機能更新

[glu 管理画面]

- ROOT ユーザ：「メールアドレス」を連絡用に変更

3.6.0 以降では ROOT ユーザの連絡先メールアドレスをご入力ください。

これまでは glu から Eメールで通知する時の「送信元メールアドレス」として使用していましたが、今回の機能追加により、ROOT ユーザへの連絡先メールアドレスとしてのご利用方法へ変更します。今後、パスワード変更時のご連絡先などに使用する予定があります。

※「送信元メールアドレス」は外部サービス管理で管理します。

- ユーザ管理：「メールアドレス」の入力必須化・「パスワード」の最小文字数を設置

ユーザの「メールアドレス」を必須の項目、「パスワード」は 6 文字以上 16 文字以下とします。ユーザ新規作成時または既存ユーザの情報変更時に入力を求められます。

- キャンバス：SQL形式、JSON形式のレポートテンプレートの閲覧に対応

拡張子が「sql」「json」のファイルの内容を「sheet」「csv」など同様にキャンバス上で閲覧可能です。

※ Excel 形式のファイルは glu からダウンロードする動作となります。

- ハンバーガボタンを追加

glu 管理画面左上に設置された三本線のアイコンです。画面左「ナビゲーションウィンドウ」「検索ボックス」の表示・非表示を切り替え可能です。

- キーボード操作を追加

左ナビゲータで選択したアイテムをキーボードから操作可能です。

- Enter： アイテムを開く・閉じる
- ↑： 上の兄アイテム、もしくは親アイテムへ移動
- ↓： 下の弟アイテムへ移動
- ←： 親アイテムへ移動
- ： アイテムを開く、もしくは、子アイテムへ移動

- ファイル：「ファイル選択」画面を改善

新規作成：ファイル

基本 レポート自動作成 管理

ファイル選択：

ここにファイルをドラッグ&ドロップするかファイルを選択してください。

ファイルを選択 選択されていません

ファイル名：

オプション：☐ レポートテンプレートとして使用する
☐ レポートを自動作成する

メモ：

保存 キャンセル

- 系列の表示位置：「系列」の表示位置を指定可能な「系列の表示位置」（SHOW_SERIES）を追加

系列の表示位置：非表示 `SHOW_SERIES=report_show_series_none`

系列の表示位置：視点列 `SHOW_SERIES=report_show_series_top`

系列の表示位置：最初の列 `SHOW_SERIES=report_show_series_first`

系列の表示位置：最後の列 `SHOW_SERIES=report_show_series_last`

- 分割の表示位置：「分割」（SEGMENT）を「視点列」として出力する機能を追加

分割の表示位置：視点列 `SHOW_SEGMENT=report_show_segment_top`

併せて「非表示」・「最初の列」・「最後の列」のレポートタグの記述方法を追加します。

分割の表示位置：非表示 `SHOW_SEGMENT=report_show_segment_none`

分割の表示位置：最初の列 `SHOW_SEGMENT=report_show_segment_first`

分割の表示位置：最後の列 `SHOW_SEGMENT=report_show_segment_last`

従来の記述方法も引き続きご利用可能です。

分割の表示位置：非表示 `SHOW_SEGMENT=report_show_segment_none_by_aspect`

分割の表示位置：最初の列 `SHOW_SEGMENT=report_show_segment_first_by_aspect`

分割の表示位置：最後の列 `SHOW_SEGMENT=report_show_segment_last_by_aspect`

- 行を系列ごとに折り返す：視点の項目ごとに「系列」（SERIES）を折り返して表示する機能を追加

行を系列ごとに折り返す：はい `WRAP_ROWS=true`

行を系列ごとに折り返す：いいえ `WRAP_ROWS=false`

[メディア管理]

- アカウント・キャンペーン：「データ型：実数・金額・率」の項目の小数点桁数を 12 桁へ拡大

これまでは「Fee率」などの入力項目は小数点 4 桁までしか入力できませんでした。今回の機能追加により、小数点 12 桁まで入力することが可能です。

[スケジュール]

- Criteo：「レポート種別：広告別」に対応

広告別レポートを取得可能です。

[レポート]

- 系列：レポートデータが無い系列（日、週、月など）の属性項目を出力する機能を追加

これまではレポートデータが無い系列（SERIES）の属性項目を出すことができませんでした。今回の機能追加により、レポートデータが無い系列でも属性項目（予算、ラベルなど）を出力することが可能です。

出力したい属性項目はアタラ サポートチームまでお知らせください。

- Criteo：指標「アプリインストール」の取得に対応

ダイスへの項目追加が必要な場合は、アタラ サポートチームまでお知らせください。

- Indeed：指標「応募数」に対応

ダイスの「CV数(すべて)」より出力可能です。※ ダイス の項目名はご利用の環境によって異なります。

- TikTok広告：指標「インストール」「コンバージョン（SKAN）」に対応

ダイスへの項目追加が必要な場合は、アタラ サポートチームまでお知らせください。

- X広告：一部の広告で取得できていなかった URL の取得に対応

- X広告：指標「ウィッシュリストに追加」「コンテンツ表示」「チェックアウト開始」に対応

ダイスへの項目追加が必要な場合は、アタラ サポートチームまでお知らせください。

[メディアインポーター]

- インポート：インポート用ファイルのヘッダーに改行があってもインポートするように対応

機能修正

[スケジュール]

- Facebook広告：広告の説明文を全文保存できず途切れる事象に対応

- Facebook広告：アクション別レポートのエラー終了に対応

- Microsoft広告：キャンペーン・広告の属性の取得方法を修正

広告アカウント構造を取得する必要がなくなりました。広告別レポートの取得時に広告の属性も取得します。今回の対応により、キャンペーン タイプ・広告タイプの一部の表記が変更となります。

例) RESPONSIVE SEARCH AD → RESPONSIVESEARCH

- UNIVERSE Ads：[集約方式：月別] の取得により数値が異常になる事象を修正

[メディアインポーター]

- インポート：インポート用ファイルに無い日付のデータを glu のデータベースから消去してしまう事象に対応

